

ウナギ稚魚

前年比2倍

26
7/23

水産庁は毎日、2013年11月～14年5月の漁期に養殖池に入れられたニホシウナギの稚魚（シラスウナギ）が、前年同期比約2倍の25・7トだったと発表した。13年11月～14年5月表した。シラスウナギが不漁で池への投入量が極端に少なかった前年同期からは回復した。ただ、ただ担当者は「決して高い水

生息数は減少 保護必要

準ではない」と指摘。長期的な傾向として、過剰捕獲によりシラスウナギの生息数は減っているとして、保護の必要性を訴えている。国内で捕獲され池に入れられたシラスウナギが約3・1倍の16・0ト。輸入された分が約1・3倍の9・7トだった。シラスウナギの取引価格は1割当たり92万円。前年同期の248万円に比べ大幅に下落した。